

# 今月の報告

## 子ども防災サミットでつながるベトナム・フエ市との防災の輪

市庁舎本館 危機管理課防災連携係 TEL0897-52-1267  
市庁舎別館 学校教育課指導係 TEL0897-52-1640

12月19日に総合文化会館で、市内小学校6年生全員が一堂に会して防災学習の実践発表や意見交流などを行う「子ども防災サミット」を開催しました。

サミットには、JICA（国際協力機構）の草の根技術協力プロジェクトの一環として、当市が防災教育プログラムの開発・実践を支援しているベトナム・フエ市から、同市公安局のチュオン・ディン・ドゥック副局長をはじめ、現地で防災学習を実践している子どもたち6人を含む研修団11人が出席しました。はじめに市内代表校の徳田小

学校と神拝小学校の子どもたちが実践発表を行いました。その後、フエ市のチュー・バン・アン中学校とファン・サオ・ナム中学校の子どもたちも現地で取り組んだ防災学習の成果を元気よく発表しました。

チュー・バン・アン中学校の子どもたちは、地震と津波の被害や対策を発表。ファン・サオ・ナム中学校の子どもたちは、タウンウォッチングを通じて発見した、自分たちが住んでいるまちの危険な場所や安全な場所、子どもたちが考えた防災対策を発表しました。



徳田小学校



神拝小学校



チュー・バン・アン中学校



ファン・サオ・ナム中学校

フエ市の子どもたちは、発表に続いて行われた意見交流にも参加し、「地震や津波は、いつ起きるかわからない。自分の命を守り、周りの人の命を助けたいと思い、いろいろ調べた」と語りました。また、今回のサミットには東日本大震災被災

地の福島県相馬市から、同市地域防災対策室の宮崎富由室長も出席されました。

サミットの締め括りに「各家庭で、各個人で備蓄しておくことが必要。避難経路も一つだけでなく、複数考えておいてほしい」との講評を述べられました。



意見交流



フロアからも意見発表



宮崎富由室長

フエ市、相馬市、西条市が「防災の輪」でつながり、絆を強めた今回のサミット。

日本ベトナム外交関係樹立40周年の「日越友好年」にふさわしい、大変有意義なものとなりました。



しめ縄作りも体験